

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年9月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機タービン建屋小型クレーンの過負荷警報発生に伴う停止について】 協力企業作業員が、3号機タービン建屋小型クレーン点検に伴い操作スイッチを操作したところ、過負荷警報が発生し小型クレーンが停止したことを確認。 現場調査の結果、電源盤にある当該機器へのケーブルのコネクタ部に絶縁不良を確認。 原因は、コネクタ部で短絡が発生した結果、過負荷が発生したものと推定。 今後、電源盤のケーブル接続コネクタは使用せず、ケーブル内各コードを盤内の端子盤へ直接接続する。 また、コネクタ部の分解に併せて詳細原因の調査を行う。</p>	GⅢ	9月21日
2	<p>【サブドレンNo. 19ピットからの油分確認について】 当社社員が、サブドレンNo. 19ピットのサンプリングの分析結果を確認したところ、油分が40mg/Lであり排水基準値の5.0mg/Lを超過していることを確認。 なお、サンプリング採取日はサブドレンNo. 19の汲み上げがなかったことを確認。 また、サブドレンNo. 19の汲み上げ先であるNo. 3中継タンク内包水の分析結果において油分がないことを確認。 サブドレンNo. 19および、連通するサブドレンNo. 18についても油分の拡散を防ぐために、汲み上げを停止。 サブドレンNo. 19において油分の全量回収が出来なかったことから、今後、小型ポンプ等を使用して油分の回収を計画。 なお、サンプリングは継続的に実施し、油分回収状況の確認を行う。 また、カメラ等によるピット内部の調査を計画し、流出箇所および原因の調査を行う。</p>	GⅢ	9月21日